

関係各位

高知県病虫害防除所長

令和 6 年度病虫害発生予察技術情報（第 12 号）

チュウゴクアミガサハゴロモの県内への侵入が確認されました

令和 6 年 12 月に、県内各地で販売されていた果樹等の苗木にチュウゴクアミガサハゴロモの成幼虫や卵が付着していたとの情報提供がありました。情報提供者から譲り受けた成虫標本を神戸植物防疫所に送付し同定を依頼したところ、チュウゴクアミガサハゴロモである事が確認されました。

本虫は中国原産で、国内では平成 29 年頃から関東以西で発生が確認されています。本虫は広食性で、クワ科、ブナ科、マメ科、モクセイ科、モチノキ科等の様々な樹木類や、キク科草本植物に寄生することが報告されており、令和 7 年 1 月末までに、神奈川県、埼玉県、福岡県、山梨県、東京都から特殊報が発表され、ナシ等バラ科植物、カンキツ、カキ、ブルーベリー、イチジク、チャ等で被害が報告されています。本県においても、今後、苗木から逸出した本虫が園地へ飛来し、被害が発生する恐れがありますので、果樹類、チャ等での発生に注意してください。

・ **本種の形態および生態**

成虫の体長は 11～14 mm 程度、前翅長は 10～13.5 mm 程度で、前翅は茶褐色から鉄さび色、前翅前縁中央部に丸みを帯びた三角形の白斑があります(写真 1)。幼虫は白色で、背中の上部には小さな黒点があり、白い糸状の蠟物質が腹部から毛束の様に広がります(写真 2)。卵は寄主植物の枝の内部に産み付けられ、産卵痕は白色の蠟物質で覆われます(写真 3)。

・ **被害**

成虫および幼虫が枝を吸汁加害し、発生が多い場合にはすす病の発生が見られます。また、多数の卵が直径 10 mm 以下の枝の内部に産み付けられるため、枝の組織を傷つけ、枝折れ被害が生じることがあります。

・ **防除対策**

現在、果樹類やチャに本虫を対象とした登録農薬はありません。幼虫や卵が付着した枝(写真 2、3)を見つけた場合には放置せず、切除して埋却する等、適切に処理してください。

・ **参考文献**

- 1) 神奈川県特殊報、埼玉県特殊報、福岡県特殊報、山梨県特殊報、東京都特殊報
- 2) 岡田遼太郎・鈴木久瑠実・鈴木紀之. 2024. 高知県におけるチュウゴクアミガサハゴロモの記録. 高知昆虫研究会会誌げんせい 100 : 41-44



写真1 チュウゴクアミガサハゴロモ成虫

本種は在来種のアミガサハゴロモ(体長7~10mm)やアオバハゴロモ(同10mm)と比べやや大型。



写真2 幼虫(神奈川県農業技術センター原図)



写真3 産卵痕

お問合せは、病害虫防除所(TEL：088-863-1132)または環境農業推進課(TEL：088-821-4861)まで